

令和2年度瀬戸内海国立公園子どもパークレンジャー事業（広島地区）

テーク：大久野島のウサギ調べ隊

実施日時：2020年11月14日（土）9:20—17:00

場所：広島県竹原市忠海町大久野島

講師：馬場 聖子 様（大久野島ビジターセンター）

参加者：小学4～6年生16名

天候：晴れ

内容：国立公園の管理をする自然保護官のことを「レンジャー」といいます。子どもたちが「子どもパークレンジャー」となって大久野島のウサギについて調査をし、人と野生動物との関わり方について伝える事業を開催しました。

例年は、2泊3日で行っていた本事業ですが、今年度は、Covid-19の影響もあり日帰りで実施しました。

午前中は、休暇村大久野島の会議室でオリエンテーションを行いました。同室で少し早めの昼食をとり、昼食を終えた班からフィールド調査を開始しました。調査は、調査可能な範囲が記された島の地図と複数のミッションが記されたワークシート、インスタントカメラを携えて行われました。ミッションには、来島客へのインタビューやウサギの様々な様子を写真におさめるといったものでした。

約1時間半の調査を終えた後、休暇村大久野島の会議室に戻り、班ごとに調査結果を模造紙に協力してまとめ、調査結果を発表しました。全ての班の発表後、馬場講師と自然保護官からコメントがあり、調査の振り返りと全体での分かち合いを行いました。休暇村大久野島から第二桟橋までは、紅葉や海といった自然の魅力を堪能しながら、徒歩で移動しました。解散式は大久野島で終えていたため、忠海港に着いた後は子ども達の各保護者が到着し次第、班のカウンセラーが保護者へあいさつをして各自解散となりました。

【実施風景】

大久野島へ出発

晴天の中、忠海港に集合。

受付を済ませた後、グループごとにまとまって、大久野島へ出発！





大久野島に上陸！！

無事大久野島に上陸！

拠点となる休暇村大久野島まで、バスで向かいます。



任命式

休暇村大久野島に到着し、山崎レンジャー（自然保護官）より任命書と子どもパークレンジャー（以下 JPR）キー・ホールダーを手渡しました。JPR として、大久野島のウサギについて、しっかりと調査してください！！



オリエンテーション

ウサギの調査の方法や調査道具の使い方、国立公園やレンジャーのお仕事とは?など JPR として必要なことを学びました。

驚いたことに、ほとんどの子ども達が生き物に関する知識が豊富でした。
さすが、JPR です！！



調査開始！！

少し早めの昼食を黙々と食べ、エネルギー補充完了。いざ、調査へ！！

今回の調査は、調査すべき事柄がいくつか与えられており、それらのミッションを各グループで協力しながらクリアしていくというものです。

さて、どんな発見があるのかワクワクときどき。地図とカメラを握り、出発です！



調査中①

木の根元を注意深く見てています。
何かいるのでしょうか？
何かの痕跡があるのでしょうか？
何を見つけたのか気になりますね！！



調査中②

ウサギを発見！！
しっかり観察、記録しています。
このウサギは、何をしているのでしょうか！？



調査中③

インタビュー前に、しっかりと「インタビューをしてもよいか？」「写真を撮ってもよいか？」を確認してから、大久野島に訪れている方に「大久野島やウサギについて」のインタビューも行いました。
どんな質問をしているのでしょうか？



調査中④

フィールド調査とインタビューを手分けしているところもありました！！
どんな発見をし、どんなお話を聞けたのか調査結果の発表が楽しみです。



調査結果をまとめよう！

班ごとに調査で得られた結果を模造紙にまとめます。
まずは、まとめ方のコツをしっかりとインプット！！



調査結果まとめ①

みんなで撮影した写真を確認し、手分けして作業開始！！
調査で分かったことを模造紙にまとめていきます！！



調査結果まとめ②

こちらは、綿密に模造紙のデザインを計画中！！
写真の配置にはこだわります！！



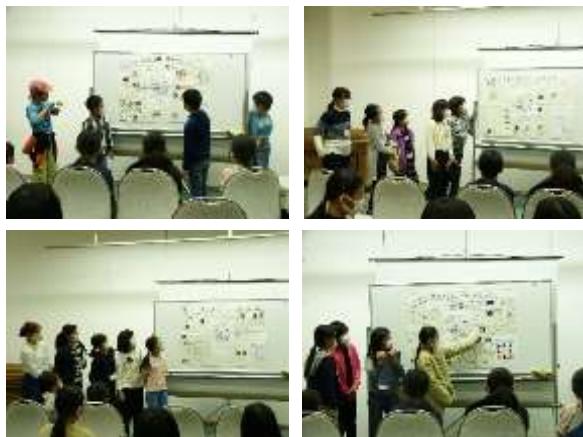
調査結果まとめ③

カウンセラーのアドバイスに耳を傾けつつ、しっかりと自分で考えて結果をまとめています。
イラストも入って、わかりやすい仕上がりになりそうです！！



調査結果まとめ④

こちらもみんなで話し合いながらまとめていきます。
定規を使って、きっちりかっちりとデザインしており、とても見やすくなりそうです！！



調査結果の発表

班ごとに調査をして分かったことを発表しました。

調査からまとめて発表までは、短い時間でしたが、どの班もウサギについて分かったことや疑問について、オリジナリティ溢れた素晴らしいまとめができました。

左上：1班

右上：2班

左下：3班

右下：4班

馬場講師からのコメント

大久野島ビターセンターに勤務されており、ウサギを身近で観察してこられた馬場講師から、JPR達の調査結果へのコメントや大久野島のウサギについてのお話がありました。



環境省 山崎レンジャーからのコメント

環境省広島事務所の山崎レンジャーからもコメントをいただいた後、1日の振り返りと分かち合いをしました。





帰路

大久野島での活動が終わり、帰路に就きます。

来るときは、バスでの移動でしたが、
帰りは第二桟橋まで歩きます。

歩くと紅葉や海、多島觀など大久野島
の魅力を実感できます。



帰りの船が到着。忠海港へ・・・

帰りの船が到着しました。

幸いにも先頭に並べたため、スムーズ
に乗船できました。



忠海港に到着

無事に忠海港に到着。

自然への関心が高まったのか、みんな
で海を見ています。

魚がいるのでしょうか？



子どもパークレンジャー事業終了！！

例年では、2泊3日で行っていた「子
どもパークレンジャー事業」でした
が、今年はコロナ禍ということもあ
り、日帰りで行いました。そのため、
非常にタイトなスケジュールになった
上に、初めての仲間との活動でした
が、JPR達は協力しながら大久野島の
ウサギについてしっかり調べ、まと
め、伝えてくれました。これからも、
自然や動物に興味関心を持ち、持ち前
の観察眼でいろんなことを発見・発信
していってほしいと思います。

タイトなスケジュールの中、本当にお
疲れ様でした。